パスター大倉の牧師室から

移住する者達の神

聖書の物語は「移住する人達の物語」と言ってもいいかと思います。神に禁じられていた実を食べてしまったゆえに、人類最初の夫婦、アダムとエバは不本意なことに、園を出て別の土地に移り住んで行きました。そしてそれ以来、アブラハム、ヤコブ、ヨセフ、そしてモーセというような人達も自分の生まれ育った地を出て見知らぬ土地に移住していきました。彼らを先祖とするユダヤ人のこれまでの歴史も移住の歴史であったということは周知のとおりです（私達はこれをユダヤ人の離散と呼びます）。

彼らは皆、自分の言語や文化とは異なった土地に移り住んで生活をした人達です。アブラハムはその年75歳になって住み慣れた故郷を出て、神様の示される地へと旅立ちました。ヤコブは自分の実家にいることができなくなり、逃亡するかのようにして家を飛び出し、ヨセフは兄達の妬みを買いエジプトに売られ、モーセはエジプトから荒野へと移住を余儀なくされました。彼らは移りゆく生活の中で神とは何か、自分とは何かということを神様から教えられたのです。

そして、このことはイエス様ご自身もそうでした。ヨハネによる福音書1章14節には「**言葉は肉体となりわたしたちのうちに宿った**」とあります。ご存知のように、この言葉はイエス様のことを示しており、この出来事を私達はクリスマスと呼んでいます。ここに記されている「**宿った**」という言葉を原語のギリシア語でみますと「**幕屋を張った**」という意味が含まれています。すなわち、神と共におられたイエス・キリストは私達の世界に幕屋を張り、私達と同じように腰を据えてこの世に住まわれたということです。

私達も神様の不思議な摂理のもと、生まれ育った母国を離れて、アメリカに移り住んできました。「アメリカに来なかったら私はクリスチャンにはならなかった」と多くの方達が言いますように、移住を通して、神様は私達に大切なことを気づかせてくださっているのではないかと思います。

この冬、自分がどんなところを通って、このアメリカに渡ってきたのか、どのように今日まで導かれてきたのか、その中で何を神様が教えてくださったのか、そんな過去の一つ一つの点をつなぎ合わせて、一本の線にしてみませんか。私達はそのところに神様の愛と恵みを見出すに違いありません。

おしらせ

■12月９日は合同礼拝がもたれ、その後、クリスマスランチ、そしてクリスマスプログラムがもたれ、子供達、聖歌隊、フラチームがそれぞれ主のご降誕を崇めました。

■12月10日、ディックス京子姉が天に召されました。ご家族の上に天来のお慰めと平安をお祈りください。

■12月14日（金）、午後7時よりキャンドルサイトサービスがもたれます。ローソクの灯のもと、静かに主イエス・キリストのご降誕を喜びましょう。

■12月15日（土）、午後5時からユースのクリスマスパーティーが教会でもたれます。

■12月23日（日）はクリスマス礼拝です。またその日にはマルチネス・ルイス兄とプロクター礼花姉の洗礼式があります。

■毎年恒例の「うどん＆そば」は今年最後の日曜日、12月30日（日）のランチタイムにもちます。そのための奉仕者を募っています。お楽しみに！

■１２月３０日（日）、うどん、そばの後にユース主催で Cowles Mountain にのぼります。どなたもどうぞ！

■1月６日（日）は午前10時からの新年合同礼拝です。新年最初の礼拝を主に捧げましょう！

■来年1月18日（金）から21日（月）までウィンタービジョンがもたれ教会のユースが参加します。

■1月19日（土）午後一時より当教会にて町田兄姉の長男である良太兄のメモリアルサービスがもたれます。

■大倉牧師は家族を訪問すべく、1月21日（月）-26日（土）まで訪日します。

■2019年の新年聖会は「こぉんな旅がしたい」（イザヤ43章19節）というテーマのもと日本同盟基督教団バンクーバー日系人福音教会の福迫徹也牧師をお招きして、1月12日（土）にオレンジ郡教会にてもたれます。今から予定に入れましょう。部分参加者も含め申し込みと参加費（ランチ）が必要です。締め切り：1月6日。

■来年の夏期修養会は7月2日（火）ー5日（金）サンタバーバラ・ウエストモント大学で「こぉんな旅がしたい！」（イザヤ43章19節）をテーマにもたれます。講師はニューホープチャペル（滋賀県彦根市）の牧師である豊田信行師です。来年は80周年という記念すべき年であり、皆で「ハレルヤ・コーラス」を合唱する予定です。

■教会のライブ礼拝映像の画質、音声がとてもよくなりました。旅行や健康上の理由で礼拝に来れない場合世界中どこからでも見ることができますのでお用いください（録画されますので後で見ることもできます）。また毎週の礼拝メッセージはポッドキャストによっていつでもどこででも聴くことができますし、礼拝プログラムを手にとり、お知らせをキャッチアップしたり、その週の「一日一生」や「おもちかえり」を用いて、一人、静まることもできます。教会ウエブサイトの日本語ページをごらんください。 https://www.sdjcc.net/

■今年最後のアップワードウエイです。この一年も皆さんと共に神様を崇めることができましたことを感謝します！主の恵みと祝福に満ちたクリスマス、新年をお迎えください。2019年もよろしくお願いします。